

平成25年 1月28日

各 位

鶴岡工業高等専門学校長
加 藤 靖

平成24年度本科卒業研究発表会
及び平成25年度卒業研究テーマの募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から、本校の教育・研究と卒業生の就職等につきましては、格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび本校では、今年度卒業予定の本科生による「卒業研究発表会」を開催しますので、是非この機会に多くの方々からご聴講いただきたく、プログラムを添えてご案内申し上げます。

この卒業研究は、実社会においても持続して行うべき研究の方法論等を養うことを目的に、卒業年度に当たる本科5年生に対し1年間課するものですが、本年も昨年に引き続き「卒業研究テーマ」を、別添要項のとおり募集いたします。

「卒業研究テーマ」の公募は、地域との交流を深めるものであると同時に、社会のニーズを踏まえた、より実践的な研究テーマを通して、学生が学習できる良い機会であると考えております。

以上の趣旨をご理解のうえ、研究テーマをご提案いただければ幸甚に存じます。

詳細につきましては、同封の別紙募集要項及び本校ホームページの地域共同テクノセンター、卒業研究テーマ募集のページにも掲載されておりますのでご覧ください。(URL <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/ctc/kenkyu-gijyutu/theme/>)

なお、本校の卒業研究は、少人数教育であり、各研究室固有の研究テーマが並行して行われるため、応募テーマについて必ずしも採択されるとは限りませんので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

お問い合わせ：
鶴岡工業高等専門学校
〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
担当：企画室
Tel：0235-25-9453
Fax：0235-24-1840
eメール：kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

鶴岡工業高等専門学校
平成24年度
本科卒業研究発表会

平成25年2月5日（火）～8日（金）

機械工学科	(2/7, 8	9:00～)	1号館2階合同講義室
電気電子工学科	(2/5, 6	9:00～)	1号館2階合同講義室
制御情報工学科	(2/7, 8	9:00～)	図書館2階視聴覚室
物質工学科	(2/5, 6	9:20～)	鶴岡市先端研究産業支援センター 鶴岡メタポロームキャンパス レクチャーホール

会場については別紙案内図をご参照ください

お申込は不要で、どなたでもご自由に聴講できます。是非お越しください。

主催：鶴岡工業高等専門学校

平成24年度卒業研究発表会

鶴岡工業高等専門学校

機械工学科

平成25年2月7日(木) [第1日目]

場所：合同講義室

NO.	時間	研究テーマ	発表者	指導教員	係教員
1	9:00	ねじ溝式真空ポンプチャンバーからの放出ガス	遠藤 才貴	矢 吹	○五十嵐 増 山
2	9:15	異なる翼形状によるターボ分子ポンプの排気性能	沼澤 和		
3	9:30	金属表面のフラクタル次元による評価方法	佐藤 優磨		
4	9:45	遠隔監視システムの試作	井澤 俊樹 渡部 翔平		
10:05 休 憩 (15分間)					
5	10:20	半球型マイクロバブル発生装置の特性観察	石向 大輔	白 野	○矢 吹 今 野
6	10:35	防雪柵まわりの流れの可視化	余語 卓也		
7	10:50	防雪柵の形状による性能比較(速度分布からの考察)	伊藤 真悟		
8	11:05	正方形噴流の拡散に関する音響励起の影響	鈴木 直人		
9	11:20	空気誘引による噴流の流量増大法	楯村 俊希		
10	11:35	黒板消しによるチョーク粉の拡散の特性調査	池田 拓也		
11:50 昼 食 休 憩					
11	13:00	太陽光・風力による小規模独立電源の運用に関する基礎研究	長岡 弘晃	本 橋	○白 野 鈴 木
12	13:15	圧縮空気を利用した土壌攪拌装置の検討	小川庄次郎		
13	13:30	3枚翼リボン型風車の出力特性	武田 将人		
14	13:45	可搬型マイクロ水力発電装置の検討	小林 知洋		
14:00 休 憩 (15分間)					
15	14:15	療育支援椅子の起立支援機構の検討	佐藤 宏幹	小野寺	○本 橋 佐々木
16	14:30	車椅子操作力の計測手法の検討	余語麻瞳香		
14:45 休 憩 (10分間)					
17	14:55	3Si-2Ti-3ZrにおけるMA-SHS反応-TiおよびZr粉末粒径の影響-	安食 雄太	五十嵐	○佐々木 矢 吹
18	15:10	置換型新四元系Mo ₅ Si ₃ の試作	井上 大輔		
19	15:25	PECS法における人工エルビーの透明化におよぼす焼結温度の影響	伊藤 泰貴		
20	15:40	MA-SHS-PECS法よって作製したSi ₃ Ti ₂ Zr ₃ 焼結体のSEM-EDS観察	佐藤 岳		

15:55

終

了

司会者：○印

平成24年度卒業研究発表会

鶴岡工業高等専門学校

機械工学科

平成25年2月8日(金) [第2日目]

場所：合同講義室

NO.	時間	研究テーマ	発表者	指導教員	係教員
21	9:00	遷移金属窒化物薄膜の合成と物性	加藤 佑太 佐藤 栄樹	鈴木	○小野寺 五十嵐
9:20 休憩 (10分間)					
22	9:30	シリコン異方性ウェットエッチング加工特性に及ぼす 極微量界面活性剤の効果	梅木 尚	田 中	○増 山 白 野
23	9:45	フライス盤による石英ガラス加工の研究	田村 臣平		
24	10:00	電着ダイヤモンド工具による炭化ケイ素の加工	櫻井 啓太		
25	10:15	酸化セリウムによるガラス研磨加工特性に及ぼす 研磨温度の効果	井上 裕樹		
26	10:30	ミニ旋盤の製作と切削性能の検討	本間 貴大		
10:45 休憩 (15分間)					
27	11:00	H8 マイコンによる水田用除草機の操縦	足達 龍輝	増 山	○今 野 竹 村
28	11:15	画像相関法に対する JPEG ファイルの適用	遠田 涼		
29	11:30	4点曲げ疲労試験における変形計測の検討	狩野 博司		
30	11:45	水田土壌攪拌機に対する振動の応用	和田 裕介		
12:00 昼 食 休 憩					
31	13:00	時間割編成支援システムの開発	齋藤 一行 寒河江航平	竹 村	○田 中 小野寺
32	13:20	ミニ駆伝計測システムの開発	齋藤 大		
33	13:35	設計製図支援システムの開発	牧 京助 後藤 幸恵		
34	13:55	学寮宿直編成システムの開発	佐藤 貴仁		
14:10 休憩 (15分間)					
35	14:25	円筒歯を用いたクラウン減速機のロータの設計と製作	會田 航士	佐々木	○竹 村 田 中
36	14:40	円筒歯を用いたクラウン減速機のステータの設計と製作	工藤 洸		
37	14:55	角度伝達誤差評価装置の製作	阿部 直幸		
38	15:10	カップリングの角度伝達誤差の測定	船山 涼平		

15:25

終

了

司会者：○印

平成24年度 鶴岡高専主催 卒業研究発表プログラム

鶴岡工業高等専門学校 電気電子工学科

第1日 [平成25年2月5日(火)]

8:50 出欠調査

8:55 開会挨拶

発表 順序	開始 時刻	発表者	発表 題 目	指導 教員	司会 計時
1	9:00	茜谷 雄三	振動試料型磁力計の試作および検討	宝賀	吉木研
2	9:15	秋葉 元気	3DCADファイル形式を利用した3D-FDTD用計算モデル構築に関する研究	保科	
3	9:30	五十嵐 洸太	スクリーン印刷法によるナノ微粒子TiO ₂ 薄膜の作製と評価	森谷	
4	9:45	五十嵐 拓	H8マイコンを用いた音声配信サーバの構築 ～ドライバの構築～	保科	
5	10:00	石井 優大	MATLAB/Simulinkを用いたMindstorm NXTの制御	佐藤淳	

10:15 休憩 10分

6	10:25	伊藤 優	メディア・アート型水槽の試作	神田	佐藤秀 研
7	10:40	稲毛 一昭	BaCeO ₃ 薄膜の焼成雰囲気依存性	内山	
8	10:55	岩井 芙美	Kinectを用いたモーションキャプチャによる動作情報取得の検証	武市	
9	11:10	榎本 湧哉	MATLABを用いた非破壊検査のアプリケーション開発	佐藤淳	
10	11:25	大澤 和嵩	純元素を用いた真空蒸着法によるCu ₂ ZnGeS ₄ 薄膜の作製と評価	森谷	

11:40 ~ 昼休み

11	13:00	太田 武	非同期転送マルチスキャンとマルチリセット線を用いたスキャンと可変クロックによる遅延測定の高速度化	加藤	佐藤淳 研
12	13:15	大滝 俊己	YBCOペレットの作製と評価	宝賀	
13	13:30	大友 恭介	XBeeを用いた環境情報表示システムの検討	武市	
14	13:45	乙坂 佳輝	大気圧プラズマCVD法を用いた石英ガラス管内壁へのTiO ₂ コーティングの研究	吉木	
15	14:00	金内 貴史	組み込み遅延測定回路を用いたLOC(Launch on Capture)による時分割遅延測定法	加藤	

14:15 休憩 10分

16	14:25	軽部 義孝	ペルチェ素子を用いた低温度差発電装置の作製と評価	森谷	加藤研
17	14:40	川上 太彰	ICAを用いた通信分野への応用の検討	武市	
18	14:55	昆 憲英	Kinectを用いた機械・機器等の制御	佐藤淳	
19	15:10	齋藤 健人	2D-FDTD用計算プログラムの開発と改良 ～C言語への移植～	保科	
20	15:25	坂井 洋介	有機ELを用いたコマツナの栽培	佐藤秀	

* 15:45 第1日終了、諸連絡

* 発表12分 質疑応答3分 (へル:10分 - 12分 -- 15分 -)

平成24年度 鶴岡高専主催 卒業研究発表プログラム

鶴岡工業高等専門学校 電気電子工学科

第2日[平成25年2月6日(水)]

8:50 出欠調査

発表 順序	開始 時刻	発表者	発表 題 目	指導 教員	司会 計時
21	9:00	佐々木 雄都	磁気共鳴による無線電力伝送に関する研究	保科	森谷研
22	9:15	佐藤 慶太	SmartAnalogを用いたセンサ信号処理システムの構築	佐藤淳	
23	9:30	佐藤 航平	プラズマガスのバブリングによる染料の脱色過程の研究	吉木	
24	9:45	佐藤 貴之	カーボンナノコイルの電磁波吸収特性の向上	江口	
25	10:00	佐藤 瑞起	フィールド・モニタリングシステムの再構築	神田	

10:15 休憩 10分

26	10:25	志田 恭輔	リングオシレータを用いたFPGAの高信頼化法	加藤	保科研
27	10:40	シャフィック	プラズマガスによる環境汚水の殺菌技術の開発	吉木	
28	10:55	庄司 秋朗	グリーンエネルギーによる独立分散電源の有用性検証	神田	
29	11:10	竹之木進 純	SrZrO ₃ 薄膜の焼成雰囲気依存性	内山	
30	11:25	田中 一成	架空地線の効果に関する実験的検討	佐藤秀	

11:40 ~ 昼休み

31	13:00	土屋 燎平	光干渉を利用した表面形状計測装置の作製	江口	宝賀研
32	13:15	畠腹 雅人	R,G,B-LEDの加法混色による白色光の質測定	佐藤秀	
33	13:30	堀 冬由基	木質廃材を利用した金属炭化物の作製と物性評価	江口	
34	13:45	本間 健太	光化学溶液堆積法によるCu ₂ ZnSnS ₄ 薄膜作製時の紫外光強度変化による影響	森谷	
35	14:00	松田 優輝	ビニルテープの絶縁耐力測定	佐藤秀	

14:15 休憩 10分

36	14:25	宮野 智羽也	(InZn)O薄膜の成膜条件依存性	内山	神田研
37	14:40	山川 陽介	XOOPSによる被災地支援のためのポータルサイトの開発	加藤	
38	14:55	山口 泰仁	.Net Gadgetterを用いたセンサークラウドの構築	佐藤淳	
39	15:10	八幡 優佳	スプレー法による酸化亜鉛薄膜の作製	宝賀	

15:25 終了 閉会の挨拶

* 発表12分 質疑応答3分 (ベル:10分— 12分— 15分—)

平成24年度卒業研究発表会

鶴岡工業高等専門学校 制御情報工学科

平成25年2月7日(木) [第1日目]

場所：視聴覚室

NO.	時間	研究テーマ	発表者	指導教員	係教員
1	9:00	FDTD法, CIP法による音響数値計算及び音の可視化	伊藤 寛祥	渡部	安齋研
2	9:15	LabVIEWによるANCシミュレーションの検討	齋藤 優太		
3	9:30	LabVIEWによる振幅偏移変調のシミュレーション	佐藤 椋太		
4	9:45	音響情報による小型ファンの状態診断の検討	成澤 浩太		
5	10:00	パーティクルフィルタとAdaBoostを用いた移動対象物体の検出	三浦 祐太		
10:15 休憩 (15分間)					
6	10:30	iPhone用画像加工アプリケーションの開発	渡部 史也	吉住	三村研
7	10:45	OpenCVを用いた動体検出について	大瀧 恵理		
8	11:00	小学校向け英語教材ソフトウェアの開発	佐藤 義紘		
9	11:15	予測変換による日本語入力支援ソフトウェアの開発	佐藤 慧太		
10	11:30	Kinect, OpenCVを用いたマウスコントロールアプリケーションの開発	チョイジョルスレン		
11:45 昼食 休憩					
11	13:00	疲労試験下における長寿命ファンの音質変化	半田 直弥	柳本	宮崎研 西山研
12	13:15	長寿命ファンの経年経過にともなうゆらぎ変化	石垣 勝好		
13	13:30	Phoenicsによるクーリングファン用制御回路基盤の熱流動解析	寒河江倅希		
14	13:45	LabVIEWによるLEGO Mindstorms NXTの制御	舟腰 直美		
14:00 準備時間 (5分間)					
15	14:05	Kinect センサを利用した遠隔コミュニケーションサポートロボットの開発	蛸井 博	穴戸	宮崎研 西山研
14:20 休憩 (15分間)					
16	14:35	省エネ指向災害時安否確認システムの試作	佐藤 健太	内海	佐藤研
17	14:50	省エネ指向災害時安否確認システムの評価	遠藤 崇江		
18	15:05	無線ネットワークにおける高性能でTCPフレンドリな新しい輻輳制御	伊藤 貴史		
19	15:20	衛星ネットワークにおける新しい輻輳通知	井上 雅都		
20	15:35	知識表現のための木構造による連想エンジンの自動化と日本語化	小林 亮介		

15:50 終了

係教員の研究室から司会と時計係の学生を出してください。

平成24年度卒業研究発表会

鶴岡工業高等専門学校 制御情報工学科

平成25年2月8日（金）〔第2日目〕

場所：視聴覚室

NO.	時間	研究テーマ	発表者	指導教員	係教員
21	9:00	Kinect と 3DCG を用いた体育教材の開発	阿部 貴穂	安 齋	渡部研
22	9:15	OpenCV とヒストグラムを用いた雷観測プログラムの開発	今井 優貴		
23	9:30	ETC 隣接レーン用棧形電波吸収体の研究	伊藤 凌介		
24	9:45	ノイズキャンセリングヘッドフォンの基礎特性実験と自動車キャビン静粛化への応用	片桐 健弥		
25	10:00	再生可能エネルギー環境におけるヒューマンアシスト電動ビークルの開発	原田 匠		
10:15 休 憩 (15分間)					
26	10:30	ピン接合のみを用いた組立構造模型のための折畳機構の検討	守谷 美希	三 村	吉住研
27	10:45	Kinect センサを用いた非接触体積計測ツールの開発	五十嵐直央		
28	11:00	ピン接合のみを用いた組立構造のためのデータ表現の検討	信夫 直大		
29	11:15	AR 技術を用いた直感的教育ツールの開発	板橋 朋彦		
30	11:30	iPhone を用いた災害状況収集ツールの開発	菅原 飛夢		
11:45 昼 食 休 憩					
31	13:00	光ヘテロダイン干渉計の製作と微小変位測定への応用	大瀧 陽輔	宮 崎	柳本研 宍戸研
32	13:15	偏光と画像処理を利用した表面性状測定	大友 涼平		
33	13:30	超音波トランスジューサを用いた距離センサの製作	山口 俊輔		
13:45 準 備 時 間 (5分間)					
34	13:50	リアルタイムな操作を可能とした遺伝的アルゴリズムプログラムの作成	奥山 大地	西 山	柳本研 宍戸研
35	14:05	遺伝的アルゴリズムによる株売買	小野寺幸太		
36	14:20	遺伝的アルゴリズムによるスケジューリング問題の解決	進藤 絵里		
14:35 休 憩 (15分間)					
37	14:50	PIC マイコンを使用した二足歩行ロボットの開発試作	阿部 亮矢	佐 藤	内海研
38	15:05	PIC マイコンを使用した二足歩行ロボットのソフトウェア開発	佐々木美月		
39	15:20	H8 マイコンを使用した粘度測定器の開発試作	佐久間文明		
40	15:35	2リンクアームロボットの軌道制御に関する研究	竹田 稔真		
15:50 終 了					

係教員の研究室から司会と時計係の学生を出してください。

鶴岡高専主催
平成24年度 物質工学科 卒業研究発表プログラム

場所: 鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール

2月5日(火)

発表時間: 一人13分 質疑応答: 2分 交代: 1分

No.	時刻	学 生 名	発 表 題 目	指導教員	審査教員
	9:15		出 欠 調 査		
	9:25		開 会 挨 拶		学 科 長
1	9:35	渡部克基	酸化チタン光触媒の固定化と水浄化への応用	清野	◎佐藤貴南
2	9:51	松浦 元	色素増感太陽電池の性能に及ぼす酸化チタン粉碎の影響		
3	10:07	加藤佑典	レーザー回折式粒度分布測定装置による粒度分布の正確さの検討		
4	10:23	成田武弘	金属酸化物触媒によるタバコ煙汚染物質の除去		
	10:39 ↓ 10:49		休憩(10分)		
5	10:49	伊藤康広	アスピリン原薬の回分冷却晶析における冷却条件の影響	三上	◎清野 佐藤貴
6	11:05	太田優輝	滴下冷却晶析法を用いたカリミョウバン単分散結晶の製造		
7	11:21	小久保真悟	晶析法を用いた帆立貝殻成分からの高純度炭酸カルシウム製造		
	11:37 ↓ 12:50		昼休み(73分)		
8	12:50	石川佳南子	絹タンパク質セリシンとポリ乳酸の複合化	飯島	◎三上 清野
9	13:06	傳 凧沙	絹タンパク質の酵素による加水分解		
10	13:22	金 栞	シクロデキストリン修飾シルクフィブロインの合成		
11	13:38	荘司俊紀	酵母ATP1とRasタンパク質の相互作用の解析	南	◎飯島 三上
12	13:54	澁谷竜明	木部細胞分化におけるメタカスパーゼの発現		
13	14:10	難波浩哉	ブドウ培養細胞におけるメタカスパーゼ活性の変動		
	14:26 ↓ 14:36		休憩(10分)		
14	14:36	丹野 駿	燃料電池用ポリマー/シリカ複合微粒子の合成法の改善	佐藤貴	◎南 飯島
15	14:52	平松拳也	シリカ微粒子積層型電解質の構造最適化		
16	15:08	土門千紗	電気二重層キャパシタの新規有機塩の合成と評価		
17	15:24	斎藤 駿	リチウムイオン二次電池新規活物質の開発		
18	15:40	三浦美紀	ナノファイバー機能性材料の開発		
	15:56		終 了		

◎座長教員

場所: 鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール

2月6日(水)

発表時間: 一人13分 質疑応答: 2分 交代: 1分

No.	時刻	学 生 名	発 表 題 目	指導教員	審査教員
	9:15		出 欠 調 査		
19	9:20	白幡尚泰	単斜晶系チタン酸のイオン交換繰り返し使用の検討	栗野	◎阿部 戸嶋
20	9:36	東海林聡	単斜晶系チタン酸のイオン交換機構の検討		
21	9:52	林 知樹	膜型吸着剤を用いた単斜晶系チタン酸のリチウム吸着		
22	10:08	庄司一輝	単斜晶系チタン酸を含む高分子膜貯蔵体		
	10:24 ↓ 10:34		休憩(10分)		
23	10:34	鈴木裕太	赤カブの漬け汁がマウス末梢時計遺伝子および、代謝関連遺伝子に与える影響	平尾	◎戸嶋 阿部
24	10:50	柴田かほり	漬物に含まれるナトリウムが体内時計に与える影響		
25	11:06	渡部 剛	電析によるFe-Mo-B金属ガラス膜の作製	戸嶋	◎平尾 栗野
26	11:22	佐藤祐歩	Cu ²⁺ , Cl ⁻ を含む水溶液中におけるアルミニウムの腐食挙動およびベンゾトリアゾールによる腐食抑制効果		
27	11:38	佐久間匠	エタノール溶液中における鉄の腐食挙動の解析		
	11:54 ↓ 13:00		昼休み(66分)		
28	13:00	中村公俊	菌頭カップリング反応を用いた新規なジシアノフルベン誘導体の合成	瀬川	◎佐藤司 平尾
29	13:16	鹿野秀成	6,6-ジエステルフルベンの合成		
30	13:32	伴 弥生	2,3-ジ(4'-ヒドロキシフェニル)-6,6-ジシアノフルベンの合成		
31	13:48	柴崎真緒	exo-2,3-ジフェニル-6,6-ジシアノフルベン二量体の光反応		
	14:04 ↓ 14:14		休憩(10分)		
32	14:14	堀井彩那	流木の炭焼きによる再資源化の検討	佐藤司	◎栗野 瀬川
33	14:30	鈴木太郎	漂着魚網を原料とする再生プラスチックの製造と評価		
34	14:46	関 亜美	絹フィブロインタンパク質による水溶液中の金属吸着		
35	15:02	菅原 武	オオミジンコに対する無機化合物の影響(塩化セシウムの生態影響)	阿部	◎瀬川 佐藤司
36	15:18	本間康弘	山形県鶴岡市内の酸性雨の分析と比較(第3報)		
	15:34		終了		

◎座長教員

平成25年度「卒業研究テーマ」募集要項

1. 募集テーマ内容

鶴岡高専の卒業研究テーマとなりうる研究課題

卒業研究テーマになりうるか否かのお問い合わせは、次の者に御照会願います。

地域共同テクノセンター長 佐藤 貴哉 (TEL 0235-25-9461)

2. 応募条件

(1) テーマ採択後、実施アドバイスなど研究に適切な協力が可能な個人又は企業とする。

(2) 試作などを必要とする場合は、応募者側が準備するものとする。

3. その他

本校に必要な経費を要求しないこと。

4. 応募期限

平成25年2月28日(木)

※募集から採択までの流れ

1. 卒業研究テーマ募集

2. 応募テーマのマッチング

3. 打ち合わせ

4. 打ち合わせを経て、正式に採択の可否を決定し通知する。

5. 採択テーマに関しては、平成25年4月1日から研究を開始する。

※募集テーマの秘匿について

1. 学内での応募テーマとのマッチングについては、担当教員にだけテーマを知らせます。(担当教員には守秘義務があるため、応募テーマの秘匿性の保持についてはご安心ください。)

2. 本校学生には、毎年2月に学内で開催される「卒業研究発表会」での発表が義務付けられております。この発表会は、平成14年度から一般公開となっておりますので、知的財産権等に関わる場合は、発表前に卒業研究指導教員との打ち合わせのうえ、あらかじめ知的財産権等の手続きをとられる等、ご留意願います。

平成25年度 鶴岡高専「卒業研究テーマ」応募用紙

応募者	氏名					
	会社名					
	部署・役職等					
	TEL		FAX		E-mail	
テーマ名						
提案内容 (簡潔に)						
テーマ提案 の背景など	<p>1. 御社での開発予定の有無</p> <p>2. 新分野として注目していること</p> <p>3. その他</p>					

◇応募申込先 : 鶴岡高専企画室 TEL : 0235 (25) 9453
 企画・連携係 FAX : 0235 (24) 1840
 E-mail : kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

◇応募期限 : 平成25年2月28日(木)

平成25年 1月28日

各 位

鶴岡工業高等専門学校
専攻科長 宮崎 孝雄
地域共同テクノセンター長 佐藤貴哉

平成24年度 鶴岡工業高等専門学校
専攻科研究最終発表会及び懇親会のご案内

拝啓 厳寒の候、貴社益々ご清栄のことと拝察いたします。

また、平素より本校の教育研究活動に関しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校は地域の若いエンジニアの教育・育成が第1の任務ではありますが、同時に地域密着型高専を謳い地域企業の技術開発を支える役割も果たしてゆく責任があります。

残念ながら、地域企業の第一線技術者と高専間の交流は必ずしも十分とは申せません。そのためには、まず、本校の教育研究活動の一端をよく理解して頂き、本校の教員と地域企業技術者の交流のパイプ作りから始めることが必要と考えます。

そのための一環として、本校専攻科学生の研究発表会の場を利用して忌憚のない質疑応答や意見交換を通じて交流の輪を広げたいと存じます。

下記の日程で研究発表会と学生・教員を交えた簡素な懇親会を開催いたしますので、是非ご参加をいただきたくお願い申し上げます。(詳細は、別紙をご参照下さい。)

なお、研究発表の聴講にはお申し込みは不要ですが、懇親会につきましては、準備の都合上、参加を希望される場合は、別紙の申込用紙にご記入いただき、2月7日(木)まで、本校企画室に、FAXにてお申し込みください。

お問い合わせ先
鶴岡工業高等専門学校
〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
担当：企画室
Tel：0235-25-9453
Fax：0235-24-1840
eメール：kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp

平成 24 年度 鶴岡工業高等専門学校 専攻科研究最終発表会及び懇親会

日 時 : H25年2月13日(木) 9:30~15:30
(昼休み 12:15~13:15)

発表会場 : 鶴岡市先端研究産業支援センター
「鶴岡メタボロームキャンパス」
・レクチャーホール(電気・電子工学系)
・大会議室(機械系, 応用化学系)
(案内図 別紙)

懇親会 : ・発表終了後(15:40~)
・鶴岡メタボロームキャンパス ラウンジにて
・学生, 聴講者(地域企業技術者), 鶴岡高専教職員対象
・茶菓+ノンアルコール飲料

お申込 : ・発表会聴講は不要
・懇親会は、鶴岡高専企画室に裏面申込用紙にて、
2月7日(木)までに、FAXでお申し込みください。
FAX : 0235-24-1840
TEL : 0235-25-9453

参加費 : 無料

発表プログラム : 別紙

主催 鶴岡工業高等専門学校

平成24年度 鶴岡工業高等専門学校
専攻科研究最終発表会

☆懇親会 参加申込用紙

締切：2月7日（木）

鶴岡工業高等専門学校 企画室 行き
FAX 0235-24-1840

申込日 平成 年 月 日

氏名	フリガナ	
お勤め先	会社・事業所名	所属・役職
ご住所	〒	
	TEL	FAX

氏名	フリガナ	
お勤め先	会社・事業所名	所属・役職
ご住所	〒	
	TEL	FAX

◎受講申込者が多数の場合は、お手数でもこの用紙をコピーしてお使いください。

【ご記入いただいた情報の取り扱いについて】
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用するとともに、参加者名簿（記録用・講師用）の作成に使用させていただきます。

平成24年度 専攻科研究最終発表会

開催日 平成25年2月13日(水) (@先端研究産業支援センター(鶴岡メタボロームキャンパス))

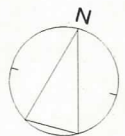
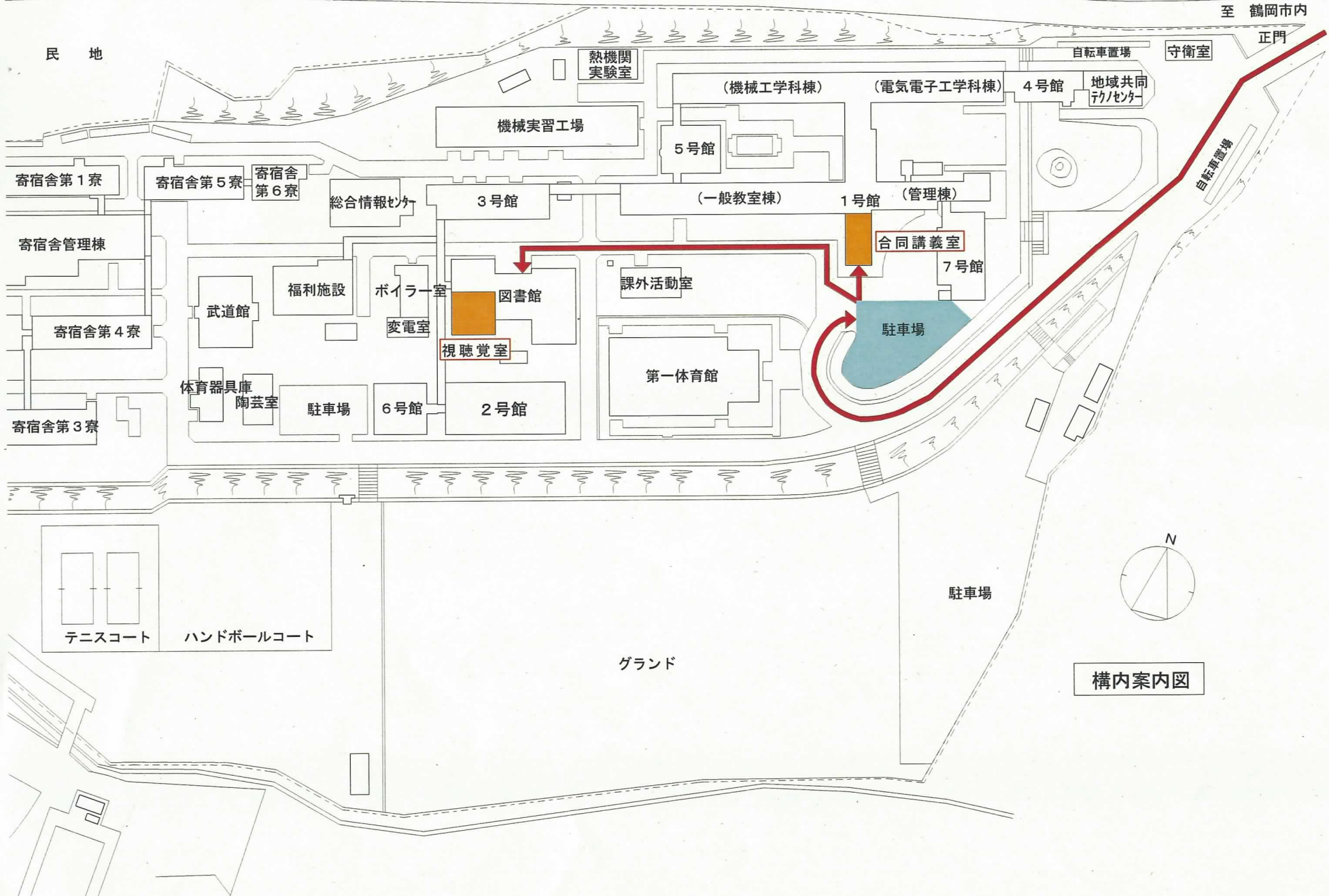
発表時間は15分、質疑応答5分です

時間	発表学生名	指導教員名	研究テーマ	発表会評価担当	論文評価 相尋教員以外の 担当者	英文要 旨評価	研究遂行 能力評価		
機械電気システム工学専攻 電気・電子工学系(座長:佐藤 専攻長, 宮崎 専攻科長)			会場:レクチャーホール						
9:30~ 9:50	秋山彩果	渡部	静粒子と動粒子を用いたパーティクルフィルタによる移動体検出の検討	佐藤(淳)・保科	武市	英語 教員 (阿部(秀)) & 指導 教員	指導 教員		
9:50~ 10:10	古賀遼太	佐藤(義)	ファジィ・ニューラルネットワークによる対象物の特性を考慮した適応力制御に関する研究	佐藤(淳)・保科	渡部				
10:10~10:30	佐藤 大	佐藤(義)	パーティクルフィルタを用いた物体検出器の提案	佐藤(淳)・保科	神田				
10:30~10:50	菅埜諒介	神田	環境モニタリング用計測システムの開発	佐藤(淳)・保科	内海				
休憩(5分)									
10:55~11:15	菅原脩平	森谷	硫化フリー・非真空プロセスによるCu ₂ SnS ₃ 薄膜の作製	佐藤(淳)・神田	内山				
11:15~11:35	菅原裕詞	柳本	ファジィ理論を用いたファン駆動音の良否判定	佐藤(淳)・神田	佐藤(義)				
11:35~11:55	富樫 涼	佐藤(淳)	文字認識による弱視者支援を目的とした Androidアプリケーションの開発	佐藤(義)・神田	保科				
11:55~12:15	土門 豊	保科	基本的線路形状のマイクロストリップ線路の実験的特性評価	佐藤(淳)・神田	森谷				
昼休み									
13:15~13:35	中村 弦	武市	画像認識技術を用いた顔認証プログラム検証	宮崎・佐藤(淳)	佐藤(義)				
13:35~13:55	長谷川晋也	宮崎	ロバスト光干渉計を利用した非接触微小振動測定	佐藤(義)・佐藤(淳)	神田				
13:55~14:15	細川明洋	佐藤(義)	アームロボットによる組立作業のための智能制御ソフトウェアの開発	宮崎・佐藤(淳)	柳本				
14:15~14:35	宮崎貴大	武市	独立成分分析を用いた心音・肺音の分離検証	宮崎・佐藤(淳)	渡部				
休憩(5分)									
14:40~15:00	横山徹也	内海	Robocodeにおける予測に基づいた戦略に関する研究	宮崎・佐藤(淳)	佐藤(淳)				
15:00~15:20	渡部倭茂	宝賀	磁束発生機構による磁束分布と鳥害防止への応用の研究	宮崎・佐藤(淳)	宮崎				
懇親会(会場 ラウンジ 15:40~)									
機械電気システム工学専攻 機械系 (座長:宮崎 専攻科長)			会場: 大会議室						
9:30~ 9:50	秋場友貴	増山	画像相関法を利用した鋼板の損傷評価	宮崎・飯島	本橋	英語 教員 (阿部(秀)) & 指導 教員	指導 教員		
9:50~10:10	伊藤広平	佐々木	クラウン減速機構と6個のアクチュエータを用いたモータの開発	宮崎・飯島	本橋				
10:10~10:30	稲村健幸	増山	水田の除草・攪拌に対する抵抗について	宮崎・飯島	宮崎				
10:30~10:50	岡田拓己	本橋	傾斜面上のサボニウス型風車周りの流れの観察	宮崎・飯島	小野寺				
休憩(5分)									
10:55~11:15	小屋重誠	小野寺	ポテンシャル法を用いた簡易回避アルゴリズムの検討	宮崎・飯島	宮崎				
11:15~11:35	半澤端弥	小野寺	療育支援椅子の開発	宮崎・飯島	増山				
昼休み									
物質工学専攻 応用化学系 (座長:飯島 専攻長)			会場: 大会議室						
12:55~13:15	石川雅俊	戸嶋	Ni-Pd-P電析膜の作製とその性質	飯島・佐藤(司)	飯島				
13:15~13:35	井上祥宏	飯島	カルボン酸修飾シクロデキストリンの合成研究	佐藤(貴)・佐藤(司)	戸嶋				
13:35~13:55	後藤駿介	飯嶋	シクロデキストリン-絹タンパク質複合材の合成とその包接能	佐藤(貴)・佐藤(司)	佐藤(貴)				
13:55~14:15	高橋克彦	佐藤(司)	油脂熱分解法によるBDF製造と評価	飯島・佐藤(貴)	阿部(達)				
休憩(5分)									
14:20~14:40	高橋研一	森永	燃料電池用固体電解質の開発とその電池特性評価	飯島・佐藤(貴)	佐藤(司)				
14:40~15:00	高橋 峻	阿部(達)	オオミジンコによる無機化学物質の安全性評価評価	飯島・佐藤(貴)	飯島				
15:00~15:20	松浦亜里沙	佐藤(司)	乳化重合に対するマイクロバブル技術の適用	飯島・佐藤(貴)	森永				
懇親会(会場 ラウンジ 15:40~)									

鶴岡高専構内案内図

国道345号線

至 鶴岡市内



構内案内図



鶴岡メタボロームキャンパス内

* 鶴岡中央高校の隣のバイオラボ棟の、さらに隣の建物です
* ガソリンスタンドESSOの正面に、建物の入り口があります

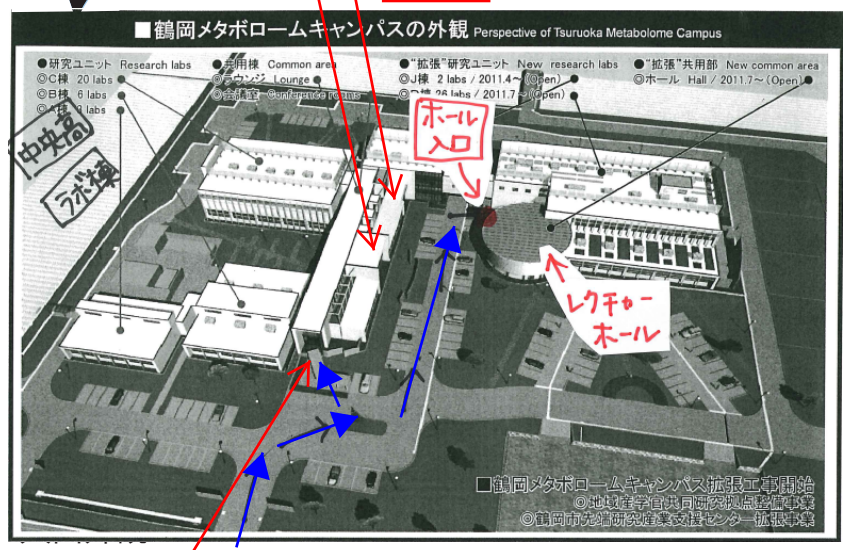
鶴岡メタボローム
キャンパス

慶應義塾大学
先端生命科学研究所
バイオラボ棟

JR 鶴岡駅

第一ホテル鶴岡

ラウンジ 会議室



会議室、ラウンジへの入り

車道

ガソリン
スタンド

ファミリー
マート

木村屋

至市役所